

平成30年4月29日
今週のベストショット



奈多グラウンド ソルトベ이스ターズ 対 奈多フェニックス
三回裏、2ランHRを放つ昨年のHR王、奈多フェニックス一番・西藤選手。
写真：新町ウインズ 早田 主大

奈多グラウンド 今林(勇)、松本両投手によるノーヒットリレーでフェニックス快勝！

ソルトベ이스ターズ (2敗) 00000 0 黒崎●一酒井
奈多フェニックス (1勝1敗) 06301 10 今林(勇)○、松本一実延(新)
HR：西藤 (奈多フ) 3BH：原、実延(彰) (奈多フ) 2BH：香山(奈多フ)

初回ソルトベ이스ターズの攻撃は、一二番が連続三振となり三番酒井選手も内野ゴロとなり三者凡退。その裏フェニックスの攻撃はソルト先発の黒崎投手による緩急をつけた投球に翻弄されて無得点。二回表もフェニックスの今林(勇)投手の圧巻の投球で勢いを増したフェニックスは、裏の先頭打者五番高原選手が左翼越えの安打を放ち一気に本塁を狙ったが惜しくもタッチアウトで一死となる。勢い止まるかと思われたがここから実延(新)選手、沖選手、香山選手、実延(彰)選手、西藤選手、福島選手まで連続で安打を重ねて四番今林(英)選手の適時打などで一気に6点のビッグイニングとした。三回表ソルトの攻撃は先頭の7番矢野選手が相手失策で初めて出塁した。このまま勢いに乗りたかったが併殺打により無得点。三回裏フェニックスの攻撃は先頭で代打の今林(誠)選手が相手失策で出塁。八番香山選手は三塁線を破る二塁打を放ち1点追加。更に一番西藤選手が左翼のフェンスオーバーの本塁打を豪快に放って、この回3点を追加した。四回ソルトはこの回から変わったフェニックスの松本投手から四球を選び先頭打者が出塁。しかし後続が続けず無得点となる。その後両チーム得点なく迎えた五回裏の攻撃。一死から八番香山選手が死球で出塁し、九番実延(彰)選手が左翼越えの適時三塁打を放ったところでコールドゲーム成立、試合終了となった。勝ったフェニックスは初回こそ黒崎投手の緩急をつけた投球に翻弄

されたが、持ち前の攻撃力に加えて、今林(勇)投手と松本投手で8個の三振を奪う圧巻の投球でソルト打線を寄せ付けなかった。一方敗れたソルトは大事な場面で守備にミスが出たりで流れを掴めなかった。黒崎投手も相手に流れが行きそうな時に持ち前の緩急を使えず単調になってしまったのが悔やまれる。

(記事：新町ウインズ 野中 一史、写真：早田 主大)



試合前風景 (ソルトベスターズ)。



試合前風景 (奈多フェニックス)。



先発した奈多フェニックス今林勇太選手。



先発したソルトベスターズ黒崎投手。



ソルト二塁コンビ森選手、石井選手。



打球を処理するフェニックス能丸遊撃手。



背走し、打球を追いかけるソルト田中中堅手。



フェニックス高原選手がホームを狙うもタッチアウト。



打球に飛びつくソルト松浦三塁手。



二回裏、タイムリーヒットを放つ西藤選手。



二回裏、七連打を浴びたまらずタイム！



打球を処理するソルト中村（健）遊撃手。



打球を処理するフェニックス香山左翼手。



三回裏、二塁打を放ったフェニックス香山選手。



三回裏、本塁打を放ったフェニックス西藤選手。



打席に立つソルト田中選手。



チェンジアップに空振りする中村（耕）選手。



四回表、二番手で登板し好投したフェニックス松本選手。



中村（耕）左翼手が背走し、打球に飛びつくも届かず！

青松園B 苦しい試合展開の行方は…

ブルーマーリンズ（2敗）5 0 0 1 2 8 横山（祥）●ー横山（健）

新町パイレーツ（1勝1敗）3 0 3 4 × 1 0 八坂○ー沖田

3BH：岡山（新町パ）盗塁：児玉（ブルー）、本堂（新町パ）

ブルーマーリンズは一回表、4安打と相手野手の失策などで幸先良く5点を先制する。リードを守りたいブルーマーリンズであったが一回裏に先発の横山（祥）投手の四球や暴投により3点を奪われると、三回裏にはパイ

レーツ七番田村選手の適時打などで逆転を許してしまい、わずか2安打で6点を奪われてしまう。直後の四回表ブルーマーリンズは一死三塁から三番桑野選手の二塁ゴロで同点に追いつくも、その裏に3連打や犠飛などで4点を奪われあっさり勝ち越されてしまう。そして五回表ブルーマーリンズは相手野手の失策により2点を挙げることはできたが勢いに乗るには及ばず、ブルーマーリンズは今季2敗目。一方、パイレーツも苦しい試合ではあったが辛くも今季初勝利を果たす。(記事・写真：雁の巣ライナーズ 明瀬 旭)



パイレーツ先発の八坂投手。



一回表、先制のホームを踏むブルーマーリンズ児玉選手。



一回表、適時打を放つブルーマーリンズ六番井上(広)選手。



ブルーマーリンズ先発の横山(祥)投手。



三回裏、勝ち越しの適時打を放つパイレーツ七番田村選手。



四回表、バント処理をするパイレーツ八坂投手。



四回裏、10点目のホームを踏むパイレーツ八坂選手。

青松園A 見応えのある投手戦！

三苦フレンズ（2勝）2000012 5 山口○ー佐藤（由）
 三友クラブ（2敗）1000000 1 足達●、矢野ー矢野、柿崎

2BH：松尾、佐藤（由）（三苦フ）

ゴールデンウィーク最初の日曜日、快晴の青松園Aの試合は、鮮やかなフレンズの先制で始まった。一番吉村雄成選手が遊撃内野安打で出塁すると、すかさず二盗。二番松尾選手が右翼への二塁打を放ち先制すると、三番生野（拓）選手も安打を放ち、あっという間に2点を先制した。だが先発の足達投手が後続を遊直、三ゴロ、三振と打ち取ると、その裏三友クラブの反撃が始まる。先頭平田選手が四球を選び、失策、四球と無死満塁の絶好のチャンスを迎えた。一死を取られたものの尾澤選手の見事な本盗で1点を返し、更にベンチが盛り上がる。しかしフレンズ山口投手はここからギアを上げ、後続二人を三振に切って取り窮地を脱した。その後は両投手が踏ん張り得点を許さない。フレンズは一番吉村選手が俊足を生かし、内野安打、四球で出塁すると盗塁でスコアリングポジションまで走者を送るものの、後一本が出ない。一方の三友クラブは、山口投手の前に六者連続の三振を喫するなど、反撃の糸口が掴めない。ようやく四回裏、柿崎選手が中堅への安打を放つが、走者を返すことができない。試合が動いたのは六回表。フレンズは四回から登板した三友クラブ矢野投手を攻めあぐねていたが、一死二塁の場面から佐藤（博）選手の鋭い打球が失策を呼び、貴重な追加点を奪った。フレンズは続く七回表にもこの日3本目の内野安打の吉村選手の出塁を足掛かりに、死球を挟み、四番佐藤（由）選手の二塁打で2点を追加し、試合を決めた。引き締まった良い試合だったが、選手各々が持ち味を発揮したフレンズ会心のゲームとなった。（記事：塩浜ジャガーズ 高嶺 信彦、写真：橋村 明浩）



三苦フレンズ先発の山口投手。



三友クラブ先発の足達投手。



この日3安打、フレンズ一番吉村選手。



一回表、先制打点を挙げるフレンズ二番松尾選手。



追い打ちを掛ける三番生野選手。



四回裏、チーム初ヒットを放つ三友クラブ柿崎選手。



四回表から登板の三友クラブ矢野投手。



六回表、追加点を踏むフレンズ佐藤（由）選手。



本日のHERO4人。

雁レクA ホーネッツ強力打線で試合を制す！

三苫ホーネッツ (2勝) 1 3 1 1 1 1 0 8 ○川原一広木

奈多サンデーズ (1勝1敗) 1 0 0 0 0 0 0 1 ●古賀一野々下

HR: 矢野(義)、川原(三苫ホ) 古賀(奈多サ) 3BH: 堺(恭)(三苫ホ)

2BH: 堺(恭)、川原(三苫ホ) 野々下(奈多サ) 盗塁: 井手2、広木、山崎(三苫ホ)

両好投手による投げ合いになるかと思われた試合、初回ホーネッツの攻撃、俊足の一番山崎選手を三振に取り二番井手選手ヒット、三番矢野選手がストレートをうまく合わせ三塁線を抜ける二塁打でホーネッツが先制。しかし、後続を抑えホーネッツに流れを与えない古賀投手。続くサンデーズの攻撃、一番二番と抑えられ三番古賀選手、川原投手のストレートをうまく捉えライトオーバーのホームランを放ち同点とした。二回表ホーネッツは、矢野(義)選手、川原選手がホームランを放ちリードを広げ、その後も毎回得点していく。追いつきたいサンデーズは川原投手に2安打に抑えられ、終わってみれば8対1と差の開いた試合結果となりホーネッツの攻撃力が光る試合結果となった。(記事・写真: 三苫三球会 半田 晃大)



気合の入った投球フォームのホーネッツ川原投手。



きわどいボールをカットするホーネッツ井手選手。



きわどい球でもしっかり見極めるサンデーズ古賀選手。



高めのボール球に思わず手が出てしまうサンデーズ山田選手。



ホーネッツが大差で昨年のリベンジを果たした。

第3週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第3週、4月29日は晴天の下、4試合が行われました。

奈多グラウンドのソルトベイズ対奈多フェニックス戦は、二回裏にフェニックス打線が爆発し、7連続を含む9安打で6点を奪うと、三回裏には一番西藤選手が豪快に左翼フェンス越えHRで追加点。フェニックスは今林勇太、松本投手のリレーでソルト打線が無安打に抑えるなど投打が噛み合い0-10で今季初勝利。昨年の閉幕式で「リーグのHR記録を塗り替えたい」と言っていた昨年のHR王・西藤選手。残り11試合で12本頑張ってください。

青松園Bのブルーマーリンズ対和白新町パイレーツ戦は、昨季0勝のブルーマーリンズがせっかく5点を先行するものの、やはり投手力に難があり、三回裏に逆転を許す。一度は追いつくも再び突き放され終わってみれば8-10の逆転負け。相手を上回る8安打を打ちつつも10与四球では守備のリズムも崩れてしまい更なる失点へと繋がってしまう。投手力の立て直しが出来なければ今年も1勝が難しい状況だ。

青松園Aの三苦フレンズ対三友クラブ戦は、フレンズ一番吉村雄成選手が3打数3安打2盗塁2得点の活躍で終始試合を優位に進め、三友クラブの反撃を初回の尾澤選手の本盗の1点に抑え、投げては山口投手が3安打9奪三振に抑え、5-1で快勝。若手が躍動し、今年もスタートダッシュに成功したフレンズの今季が楽しみだ。

雁レクAの三苦ホーネッツ対奈多サンデーズ戦は、昨年古賀投手の投打にわたる活躍で勝利したサンデーズに何としてもリベンジしたいホーネッツ。初回足を絡めたうまい攻撃を見せるホーネッツを何とか1点に凌いだサンデーズは一回裏、三番古賀投手が自らのバットで右越えHRを放ち同点に追いつくも、二回表、ホーネッツ川原投手がHRを放つと、矢野（義）選手もHRを放ち突き離すと、あとはホーネッツのやりたい放題。9安打8点を奪ったホーネッツが8-1で見事リベンジ達成。サンデーズは途中投手交代をするタイミングもあつたろうが、何の手立てもなく終わった。

GWに突入し、天候も恵まれ爽やかなスポーツ日和が続いています。

皆さん、怪我には気をつけてGWを満喫してください。

ただし、5月病と麻疹（はしか）にはご注意ください！